

～地域を繋ぐ次世代のみかん農家を目指して！～

長谷 衛さん（宇和島市（旧吉田町））

長谷農園 代表 1981年生まれ



☆経営概況☆

宇和島市内の園地で、南柑 20 号（30a）、愛媛果試第 28 号（15a）早生みかん（10a）、レモン（45a）を栽培し、愛南町の園地では特産の河内晩柑（120a）と甘夏（50a）を栽培しています。園地が離れているので、移動が大変ですが、父親と 2 人で協力しながら栽培に取り組んでいます。収穫時期等の繁忙期には、臨時で従業員を雇用したり、妻にも手伝ってもらいます。

☆ここがポイント☆

■農業はビジネスだった！～アメリカへ一人武者修行～

静岡県にある農林水産省果樹試験場興津支場で 2 年間、柑橘の栽培技術について学んだ後、海外の農業も知るためアメリカへ単身 2 年間留学しました。

留学先の野菜農家さんは農業をビジネスとして捉える経営者としての色が強く、常に「ハングリー精神」を持って農業に取り組む方でした。これからの農家には、栽培技術だけではなく、丁寧な経営管理のできるビジネス感覚が必要だということを実感しました。

■熟練の技術と若手の感覚を両手に！

アメリカ留学後、父のもとに平成 15 年に就農しました。就農してから今日まで、父から栽培技術や知識、農業との向き合い方を教えてもらっています。

また、「様々な品種から搾汁した果汁の組み合わせによって、今までにない風味を持ったストレートジュースができる！かんきつの奥深さを消費者にもっと知ってもらいたい！」という思いを共に抱く同地域の若手後継者と“NPO 法人柑橘ソムリエ愛媛”の設立に尽力し、現在も活動しています。地域のつながりの重要性を感じたことは勿論、生果だけではなく加工品としても評価してもらえるかんきつの魅力を自分の肌で感じました。

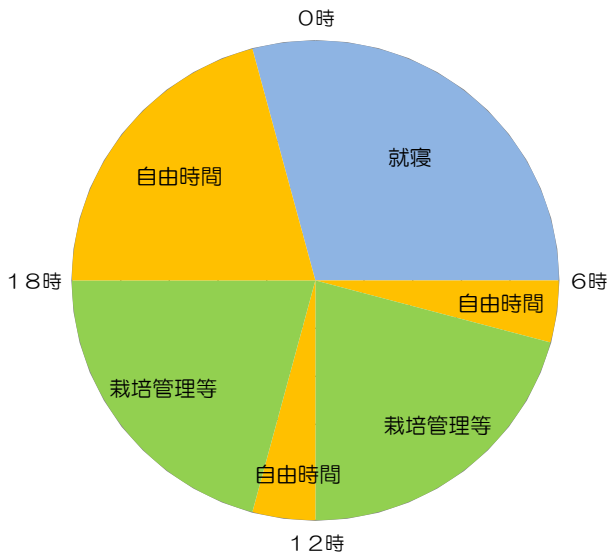


宇和海を臨む自慢のレモン園地



奥様とはめでたく昨年ご結婚！

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

「寝る時間を惜しんでまで仕事をするな」という助言を父からもらい、「働くときは働いて、休むときはしっかり休む！」というライフスタイルを意識した生活しています。

休日は妻と一緒にショッピングしたり、県外へ小旅行に行ったりと家族の時間を大切にしています。また、釣りに興じたり、大好きなお祭りに参加したりと自分の時間も楽しんでいます。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	休日は不定期（天候等により作業が少ない時が休日）					
← 収穫・出荷作業 →						
【普通期】	栽培管理					休日



夫婦揃いの長靴で収穫！



休日は地域のお祭りなどにも参加！

☆これから目指すもの☆

就農して15年ほど経ち、経営も軌道に乗ってきましたが、まだまだ**試行錯誤の日々**です。父から学ぶべきことをしっかり学びながら、**自分なりの経営スタイルを確立していきたい**です。また、今後もかんきつ加工品の奥深さを消費者の方に伝えていくために、**橙（ダイダイ）という品種を使用したオリジナルのジュース開発にも取り組んでみたい**です。

☆メッセージ☆

農業が肉体労働だということを自分自身が日々の作業を通して痛感しています。**人が言うほど楽ではありません（笑）**。しかし、年齢を問わず、同じ地域で共に農業に携わる人たちと密接に関わることで、**大変だと思う農業にやりがいを感じ、生きがいが変わります**。そんな農業の面白さをどんどん伝えていけたらなと思っています。